



第70回国連総会におけるネーヴェス・カーボヴェルデ 首相一般討論演説(2015年10月1日)要旨



※ 本文は演説の全訳でなく要旨です。また、本文の小見出し番号は当館において便宜上記したものである旨御注意下さい。

1 国連改革

国連加盟国間の協議を通じて総会を活性化するとともに、今日の世界の実情に合わせ、より公平かつ適切な配分で安保理を拡大すべきである。

2 ポスト2015開発アジェンダ

カーボヴェルデはポスト2015開発アジェンダ及び持続可能な開発目標(SDGs)を支持する。

3 気候変動及び再生可能エネルギー

気候変動の帰結としての自然災害への脆弱性、生物多様性の喪失、市場の小規模化、輸送コスト及びエネルギー価格の高騰及び融資へのアクセスの困難など、小島嶼開発途上国のニーズがSDGsの重要な要素として考慮されることを望む。また、温室効果ガスの削減に関して我々が目指していることが具体的なコミットメントに結実することを望む。パリで開催予定の気候変動枠組条約締約国会議(COP)において採択される合意文書において、「ロス・アンド・ダメージ(当館注:一般的に、気候変動に伴う水源や植生等の喪失及びインフラ等の損傷を指す)」の問題、技術移転、キャパシティ・ビルディング等が取り上げられ、最も脆弱な国々への資金援助について明確な規定がなされるべきである。カーボヴェルデは電力供給の100パーセントを再生可能エネルギーとする目標を既に打ち出しているが、現時点での達成度は30%であり、2020年までに50%に達する見込みである。

4 紛争、難民及びテロ

アフリカ及び中東における紛争の増加及びそれに伴う難民の流出を憂慮する。国際法、とりわけ難民条約及び難民の地位に関する議定書に基づいた対策が取られるべきである。また、国連は中東、特にシリアにおいて、協議に基づいた紛争の解決を実現すべく取組を強化しなくてはならない。さらに、カーボヴェルデは中東、アフリカ及びアジア

における過激派によるテロ行為を強く非難する。

5 海洋の安全保障及び海洋資源の保全

小島嶼開発途上国であるカーボヴェルデは、国際社会との協力の下に、海上の安全保障や海洋資源の保全に取り組んでいる。2014年9月には、カーボヴェルデを含む域内7か国が海洋法に関する国連条約に基づき、国連事務総長に対して合同で大陸棚の延伸を申請しており、現在前向きな返事が待たれている。また、カーボヴェルデは今次国連総会において、海洋資源の保全及び持続的な利用に関し、法的拘束力のある国際条約起草のための準備委員会の設置が決定されたことを歓迎する。

(了)